資料２

府中市緑の基本計画
第１回検討協議会
＜府中市の緑の現状について＞

１．自然的条件（P.1～）

（１）位置・地形・地質（P.1）

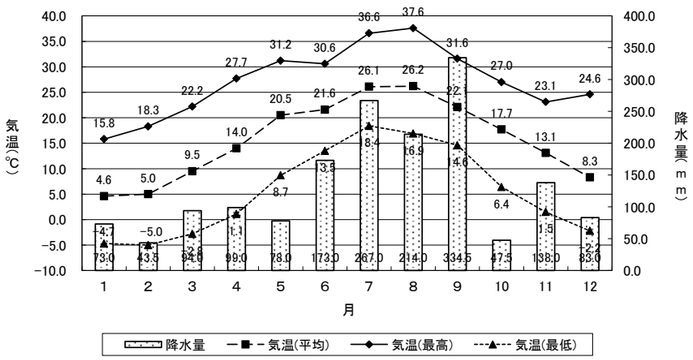
○　本市は、東京都のほぼ中央、副都心新宿から西方約22キロメートルの距離に位置しており、面積は29.43k㎡で、その広がりは東西8.75km、南北6.70kmとなっています。

○　地形は、２つの崖線により大きく分かれており、市の北端から国分寺崖線までが「武蔵野段丘」、国分寺崖線から府中崖線までが「立川段丘」、府中崖線から多摩川までが「多摩川低地」となっています。

（２）気象（P.2）

○　過去10年間の平均気温は15.4℃、降水量1,658mmとなっており、平成27年は、気温は年平均15.7℃、降水量は年間1,645mmで、過去10年間の平均とほぼ同等の気象状況となっています。

図　気象の概況（平成27年）

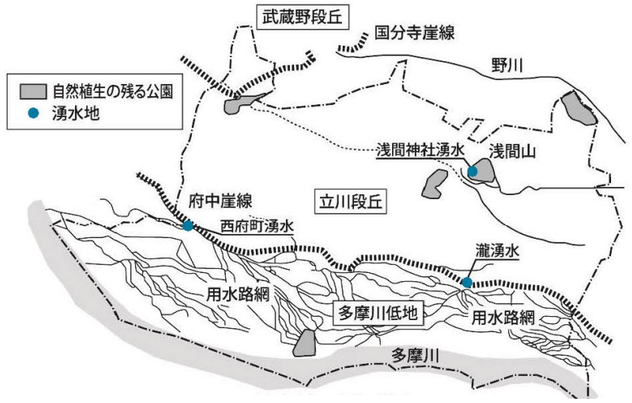


資料：アメダス府中観測所

（３）水系（P.3）

○　河川は、市域の南に多摩川が流れており、市域の北東端に位置する武蔵野公園で野川と接しています。

図　水系及び湧水の位置



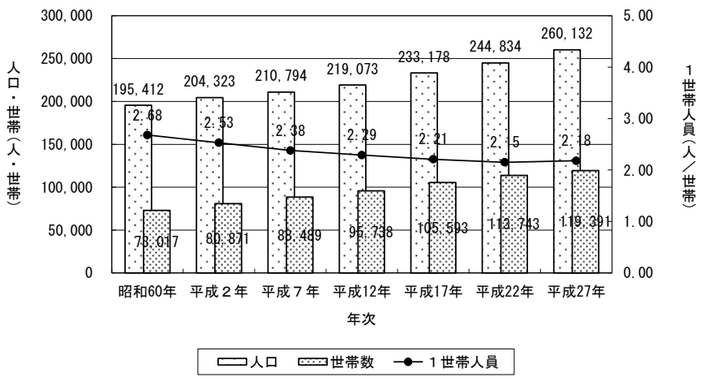
出典：第二次府中市環境基本計画

２．社会的条件（P.4～）

（１）人口・世帯動向（P.4）

○　人口は堅調に増加しており、平成27年において260,132人（国勢調査）で、平成17年からの10年間で26,954人、11.6%の増加となっています。

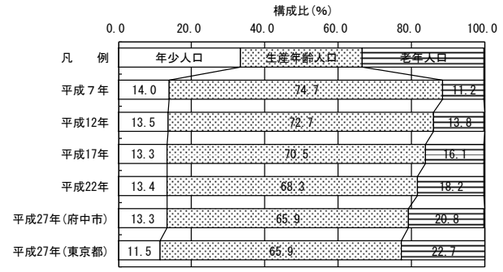
図　人口・世帯の推移



資料：国勢調査

○　年齢区分別の推移をみると、年少人口割合が低下し、老年人口割合が増加する傾向にありますが、東京都の平均と比較すると老年人口割合は低いことから、比較的若い世代が多い都市であるといえます。

図　年齢区分別人口構成比の推移

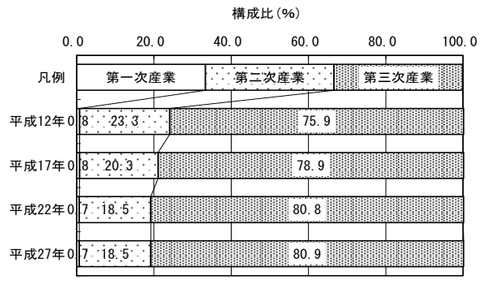


資料：国勢調査

（２）産業動向（P.5）

○　平成27年の産業分類別に就業者数の構成比をみると、平成22年の構成比とほぼ同様で、農林業等の第一次産業の割合は0.7%とごく僅かであり、製造業や建設業等の第二次産業が18.5%で、サービス業などの第三次産業が80.9%と大半を占めています。

図　産業分類別就業人口の構成比の推移



○　農家総数は平成７年以降、一貫して減少しています。このうち、自給的農家は平成17年を底に増加に転じるなど、概ね160～180件程度で安定していますが、販売農家の減少が顕著であり、特に兼業農家は20年前の平成７年の約3分の1程度に減少しています。

表　農業の状況

	農家数						
	総数	自給的農家	販売農家数	専業農家	兼業農家		
					総数	第一種	第二種
平成７年	457	173	284	36	248	46	202
平成12年	415	161	254	62	192	40	152
平成17年	370	153	217	62	155	35	120
平成22年	365	178	187	75	112	25	87
平成27年	326	164	162	77	85	9	76

資料：農林業センサス

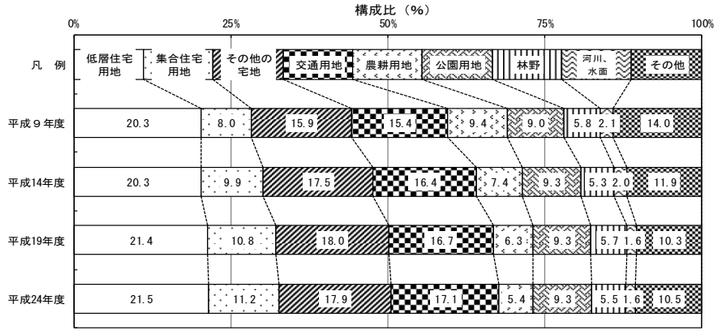
３．都市の現状（P.6～）

（１）土地利用状況（P.6）

○　平成14年度と平成24年度の土地利用を比較すると、林野は5.3%から5.5%へと増加しているものの、農耕用地は7.4%から5.4%に減少しており、総じて「緑地(緑のオープンスペース)」は減少傾向にあります。

○　その反面、低層住宅用地、集合住宅用地及びその他の宅地の合計による宅地は、47.7%から50.6%へと、増加傾向で推移しています。

図　土地利用面積構成比の推移



出典：土地利用現況調査

図　土地利用現況図（平成24年度）

出典：土地利用現況調査

（２）都市基盤整備状況（P.7）

①面的基盤整備状況

○　開発行為は、過去10年間で290件（約47万㎡）、年間30件前後となっており、合計で約2.7万㎡の緑地確保及び約6,600㎡の公園整備を誘導しています。

○　協議の対象となる中高層建築物は、過去10年間で480件（約688万㎡）、年間40件前後となっており、合計で約150万㎡の緑地確保及び約44万㎡の公園整備を誘導しています。

表　開発行為の協議件数一覧

年度	件数	開発面積(㎡)	緑地確保面積(㎡)	樹木(本)			生垣(m)	自主管理公園		提供公園	
				高木	中木	低木		面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数
18	30	45,736.4	3,498.5	650	810	3,415	144.3	442.5	1	552.3	1
19	23	43,519.9	3,364.1	727	235	328	596.7	0.0	0	589.7	2
20	26	64,918.3	2,014.1	548	120	544	62.0	0.0	0	1,878.8	3
21	27	73,119.1	3,520.3	707	165	3,050	0.0	299.0	1	1,991.3	2
22	32	48,023.1	3,168.8	750	2	386	64.5	0.0	0	197.3	1
23	30	39,981.4	2,405.4	621	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0
24	28	41,786.6	2,489.7	589	288	24	0.0	0.0	0	228.5	1
25	28	36,631.6	2,014.2	577	287	67	0.0	0.0	0	0.0	0
26	27	32,983.8	2,052.9	390	201	1,583	172.7	0.0	0	215.0	1
27	18	26,147.7	1,461.0	487	0	0	0.0	0.0	0	242.1	1
28	21	25,073.6	1,501.8	326	74	366	0.0	0.0	0	0.0	0
合計	290	477,921.4	27,490.9	6,372	2,182	9,763	1,040.2	741.5	2	5,895.0	12

表　中高層建築物の協議件数一覧

年度	件数	敷地面積(㎡)	緑地確保面積(㎡)	緑地率(%)	樹木(本)			地被類(㎡)	屋上緑化		壁面緑化		生垣(m)	自主管理公園		提供公園	
					高木	中木	低木		面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数		面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数
18	81	548,359.0	138,363.3	25.2	940	4,438	25,711	2,415.3	3,578.2	11	817.6	5	271.2	2,152.9	6	525.32	1
19	49	928,087.6	192,873.0	20.8	3,316	2,830	67,248	8,174.8	974.8	12	737.2	11	392.7	351.7	1	0	0
20	39	169,277.3	41,589.9	24.6	340	1,059	6,473	788.2	968.3	4	447.0	7	230.6	0.0	0	0	0
21	48	814,002.3	183,727.0	22.6	714	2,047	14,489	853.4	341.8	3	209.2	4	151.0	2,637.0	2	0	0
22	52	920,583.0	203,664.6	22.1	1,451	2,212	15,967	2,728.1	2,838.6	9	1,477.7	9	334.6	30,609.6	6	0	0
23	43	753,650.2	168,464.7	22.4	775	2,583	10,714	9,230.6	1,167.7	4	168.5	4	343.9	2,207.6	2	0	0
24	32	414,589.3	88,604.8	21.4	591	1,732	7,968	350.0	467.5	5	1,979.6	7	306.1	2,339.7	3	0	0
25	30	728,283.5	160,216.0	22.0	735	1,097	11,542	333.9	2,875.6	3	948.9	5	9.7	2,560.8	3	0	0
26	38	29,699.4	3,599.7	12.1	226	525	3,710	858.0	259.0	6	139.0	3	22.8	213.5	1	0	0
27	41	1,534,462.1	314,558.7	20.5	975	3,254	18,709	3,070.3	439.0	4	19.9	1	49.5	539.0	2	0	0
28	27	42,326.3	6,079.7	14.4	217	435	3,720	3,560.2	442.5	6	23.0	2	12.0	462.3	2	0	0
合計	480	6,883,319.9	1,501,741.5	21.8	10,280	22,212	186,251	32,362.7	14,352.9	67	6,967.6	58	2,124.1	44,073.9	28	525.32	1

資料：公園緑地課（各年３月末）

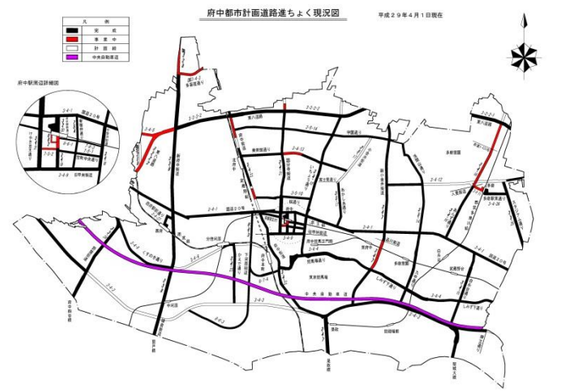
②都市計画道路の整備状況

○　都市の骨格を形成する道路として計画されている都市計画道路には、街路樹の整備が進んでいます。

○　都市計画道路は、37路線、71,590mが計画されており、このうち58,913mが既に完成し、整備率は82.2%となっています。

図表　都市計画道路整備状況

施行主体	計画路線数	計画決定延長(m)	完成	
			延長(m)	整備率(%)
国	1	6,730	6,730	100.0
東京都	11	34,720	25,650	73.8
府中市	25	30,140	26,533	88.0
合計	37	71,590	58,913	82.2



出典：計画課資料

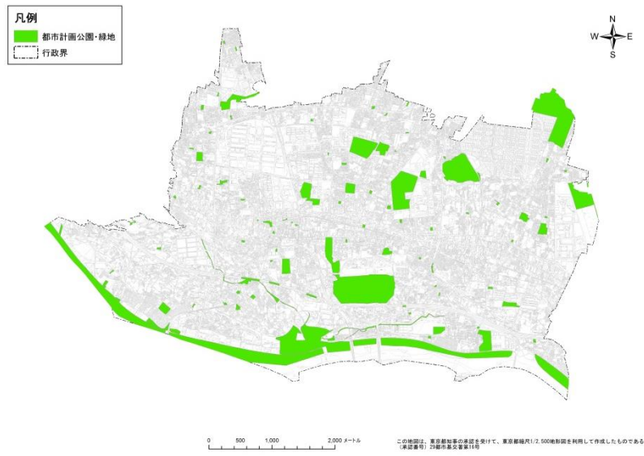
③都市計画公園・都市計画緑地の整備状況

○　都市計画公園は、77か所（110.4ha）が計画されており、供用開始済み面積は76.5haで、供用率69.4%となっています。

○　都市計画緑地は、14か所（183.5ha）が計画されており、供用開始済み面積は73.5haで、供用率40.1%となっています。

図表　都市計画公園・都市計画緑地の整備状況

種別	計画決定				供用率(%)
	箇所数(箇所)	面積(ha)	内訳		
			供用済面積(ha)	未供用面積(ha)	
公園	77	110.4	76.5	33.8	69.4
住区基幹公園	70	23.5	17.0	6.4	72.6
街区公園	61	11.3	11.1	0.2	98.5
近隣公園	9	12.2	5.9	6.3	48.6
都市基幹公園	3	28.0	27.5	0.5	98.1
総合公園	1	17.2	17.2	0.1	99.7
運動公園	2	10.8	10.3	0.5	95.5
特殊公園	3	49.5	22.7	26.9	45.8
風致公園	3	49.5	22.7	26.9	45.8
大規模公園	1	9.4	9.4	0.0	100.0
広域公園	1	9.4	9.4	0.0	100.0
緑地	14	183.5	73.5	110.0	40.1
合計	91	293.8	150.0	143.8	51.1



出典：公園緑地課資料

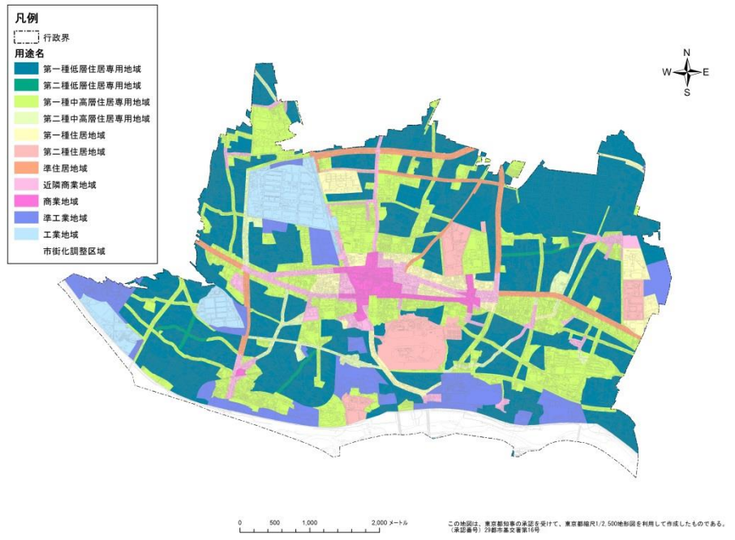
（３）法適用の状況（P.10）

①区域区分及び用途地域の指定状況

○　用途地域の71.2%が住居系用途地域となっていることから、住宅都市としての性格が強くなっています。

図表　用途地域の指定状況

種類	面積(ha)	比率(%)
第一種低層住居専用地域	1172.7	40.0
第二種低層住居専用地域	15.0	0.5
第一種中高層住居専用地域	611.2	20.8
第二種中高層住居専用地域	53.1	1.8
第一種住居地域	109.1	3.7
第二種住居地域	128.8	4.4
準住居地域	80.6	2.7
近隣商業地域	128.4	4.4
商業地域	55.8	1.9
準工業地域	222.6	7.6
工業地域	147.9	5.0
市街化区域	2725.2	92.9
市街化調整区域	208.8	7.1
都市計画区域	2934.0	100.0



資料：計画課資料

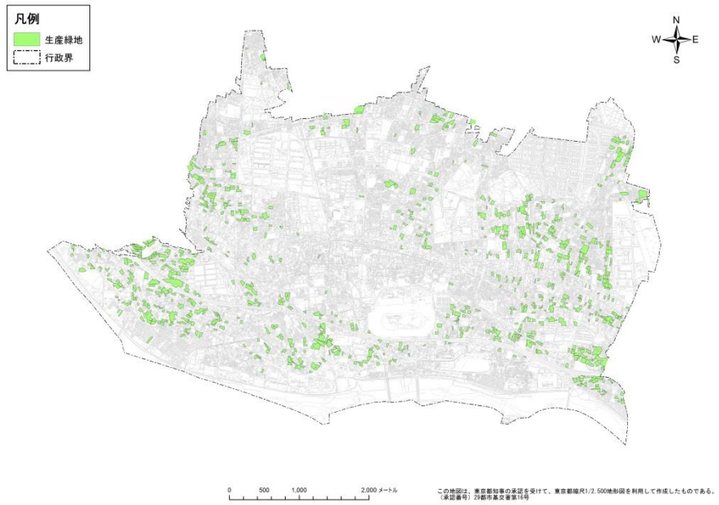
②生産緑地地区

○　生産緑地地区は、平成28年に100.1ha（458か所）となっており、平成10年と比べると、地区数、面積、１か所当たり面積は減少しています。

○　生産緑地地区は、四谷地区や押立地区、若松町・紅葉丘・朝日町付近など市域の周辺部で、多く指定されています。

図表　生産緑地地区の状況

年次	地区数(箇所)	面積(ha)
平成10年度	519	128.1
平成15年度	496	118.3
平成20年度	483	113.6
平成25年度	469	103.1
平成28年度	458	100.1



資料：公園緑地課資料

③地区計画の指定状況

表　地区計画の状況

番号	地区計画区域
1	小柳町六丁目西武住宅地区
2	日鋼町地区
3	多磨町一丁目住宅地区
4	ＪＲ南武線西府駅周辺地区
5	住吉町五丁目地区
6	若松町二丁目地区
7	幸町二丁目地区
8	多磨駅東地区
9	天神町一丁目地区
10	日新町四丁目地区
11	四谷五丁目地区
12	白糸台三丁目地区
13	晴見町地区
14	南町四丁目・住吉町五丁目地区
15	矢崎町一丁目地区

②景観形成推進地区

○　良好な景観の保全･形成に向けて､府中市景観計画に基づき、特に景観的な配慮が望まれる景観要素を含む５地区を「景観形成推進地区」に指定しています。

図表　景観形成推進地区

番号	地区名
1	大國魂神社・けやき並木周辺
2	国分寺崖線
3	府中崖線
4	浅間山周辺
5	多摩川沿川

出典：府中市景観計画

４．緑を取り巻く状況（P.16～）

（１）「緑地」の状況（P.16）

○　平成28年の「緑地」は、746.58haで、市面積の25.37%となっています。「緑地」の変化状況をみると、平成20年から平成28年までの８年間で2.23haの増加となっています。

表　緑地の現況量及び変化量

	平成20年3月末		平成28年3月末		増　減
	面積(ha)	市域に占める割合(%)	面積(ha)	市域に占める割合(%)	面積(ha)
1　公園緑地等の都市施設とする緑地（都市公園、条例等の公園）	180.68	6.14	183.98	6.25	3.30
都市公園	171.69	5.83	178.35	6.06	6.67
条例等の公園	8.99	0.31	4.02	0.14	−4.98
2　制度上安定した緑地（公共空地、生産緑地地区、保安林等）	450.47	15.31	449.90	15.29	−0.57
3　社会通念上安定した緑地（社寺境内地、公開性のある施設等）	113.20	3.85	112.70	3.83	−0.50
合　　計	744.35	25.29	746.58	25.37	2.23

出典：公園緑地課資料

（２）「緑被地」の状況（P.17）

○　「緑被地」は、平成28年５月に撮影した航空写真を判読した結果、868.63haが確認され、本市の面積2,943haの29.52%に達しています。

図　緑被地等の内訳

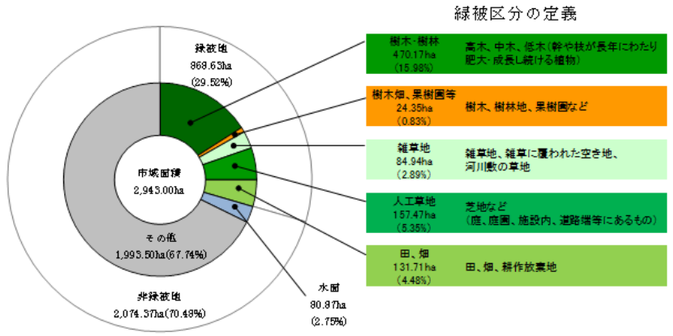
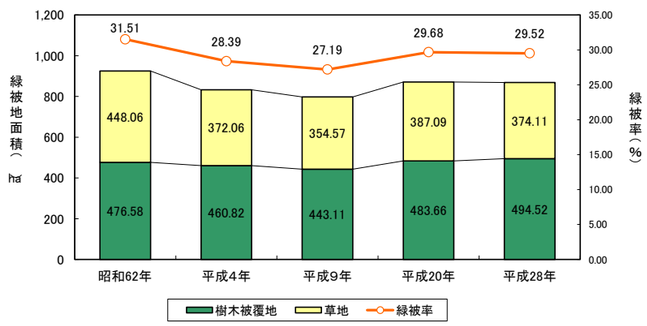


図　緑被地の推移

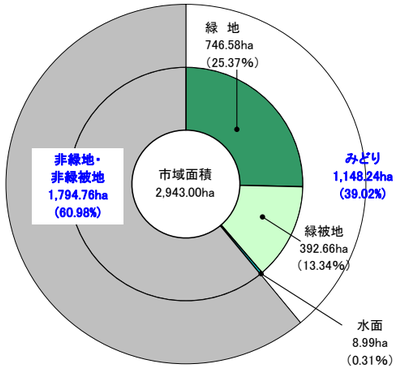


（３）「みどり率」の状況（P.20）

○　平成28年の「みどり率※」は、本市の面積2,943haの39.02%に達しています。このうち、公園などの「緑地」に含まれない「緑被地」は392.66ha（13.34%）となっています。

図表　みどり率の現状

	平成28年
みどり率（みどり面積／市域面積）	39.02%



※「みどり率」の定義

・「みどり率」とは、公園、街路樹、樹林地、草地、農地、宅地内の緑（屋上緑化を含む）、河川、水路などの面積が、本市に占める割合のことで、従来の「緑被率」に、「河川等の水面の占める割合」と「公園内で樹林等の緑に覆われていない面積の割合」を加えたものとなります。
・「みどり率」は、東京都が策定した「緑の東京計画」において提示された、都市の魅力のひとつといえる「緑の豊かさ」の指標です。

（４）樹木・樹林地の状況（P.21）

① 樹木の状況（樹冠が 10 ㎡以上の樹木）

○　樹冠が10㎡以上の樹木（民有地の樹林に含まれるものは除く）について、平成20年と平成28年の航空写真を比較し調査した結果、平成20年から平成28年の８年間で樹木は2,039本減少（4,242本減少、2,203本増加）しました。

表　樹木本数の増減（平成20年から平成28年）

変化区分			公共（本） 公園	街路樹	学校	その他	小計	民間（本） 寺社	工場	その他	小計	合計（本）
減少本数（本）	伐採	土地利用の変化なし	▲ 80	▲ 468	▲ 110	▲ 222	▲ 880	▲ 16	▲ 19	▲ 415	▲ 450	▲ 1,330
		宅地化による伐採	▲ 2	▲ 2		▲ 29	▲ 33			▲ 821	▲ 821	▲ 854
		宅地化以外による伐採	▲ 16	▲ 8	▲ 113	▲ 218	▲ 355	▲ 30	▲ 45	▲ 556	▲ 631	▲ 986
	縮小	強剪定により10㎡未満となったもの	▲ 81	▲ 585	▲ 36	▲ 209	▲ 911	▲ 2	▲ 18	▲ 141	▲ 161	▲ 1,072
	減少分小計		▲ 179	▲ 1,063	▲ 259	▲ 678	▲ 2,179	▲ 48	▲ 82	▲ 1,933	▲ 2,063	▲ 4,242
増加本数（本）	拡大	成長により10㎡以上となったもの	274	990	113	344	1,721		28	297	325	2,046
	植栽	新たに植栽されたもの	2		2	121	125		1	31	32	157
	増加分小計		276	990	115	465	1,846		29	328	357	2,203
差　引			97	▲ 73	▲ 144	▲ 213	▲ 333	▲ 48	▲ 53	▲ 1,605	▲ 1,706	▲ 2,039

② 樹林の状況（民有地内の樹林地のうち 330 ㎡以上のもの）

○　平成28年に撮影した航空写真を用いて、民有地内の樹林を調査した結果、箇所数381か所、面積57,76haが確認され、１か所当たりの樹林面積は1,516㎡となりました。

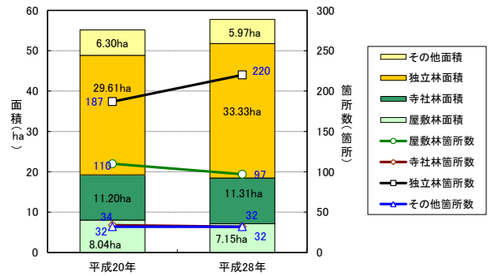
○　平成20年と平成28年を比較すると、箇所数は屋敷林（13か所減）、社寺林（２か所減）で、面積は屋敷林（0.89ha減）、その他（0.33ha減）で減少していますが、全体としては箇所数が18か所、面積が2.61haの増加となっています。

表　民有地における樹林の状況

樹林形態	箇所数（箇所）	面積（ha）	1か所当たり面積(㎡)
屋敷林	97	7.15	737
寺社林	32	11.31	3,534
独立林	220	33.33	1,515
その他	32	5.97	1,866
合　計	381	57.76	1,516

注1）樹冠面積が10㎡以上の高木の一団で330㎡以上ある樹林が対象。
注2）その他とは、複数の形態による樹林。

表　民有地における樹林の推移



（５）崖線樹林調査（P.24）

○　中崖線の樹林の状況をみると、平成９年から平成28年にかけて、0.31ha減少しています。内訳をみると、民有地の樹林が1.41ha減少する一方で、国・都有地（0.38ha増）などの公有地、寺社林（0.73ha増）が増加しています。

表　府中崖線の樹林の推移

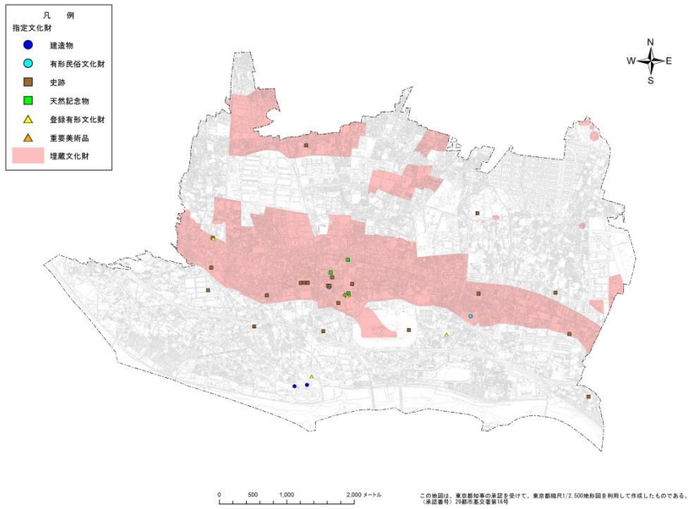
区　分		平成9年 面積(ha)	構成比(%)	平成20年 面積(ha)	構成比(%)	平成28年 面積(ha)	構成比(%)
府中崖線	市有地	1.04	22.9	1.04	23.0	1.03	24.3
	国・都有地	0.20	4.4	0.58	12.8	0.58	13.7
	うち市借用地	0.05	1.1	0.09	2.0	0.1	2.4
	寺社林	1.22	26.9	2.17	48.0	1.95	46.1
	うち市借用地	0.19	4.2	0.22	4.9	0.21	5.0
	うち指定樹林	−	−	0.07	1.5	0.07	1.7
	民有地	2.08	45.8	0.73	16.2	0.67	15.8
	うち市借用地	0.03	0.7	0.10	2.2	0.10	2.4
	うち指定樹林	0.27	5.9	0.00	0.0	0.00	0.0
	崖線の樹林　計	4.54	100.0	4.52	100.0	4.23	100.0
国分寺崖線	国・都有地	4.38	100.0	3.96	100.0	3.75	100.0
	崖線の樹林　計	4.38	100.0	3.96	100.0	3.75	100.0

資料：平成９年は「府中市のみどり（平成10年３月）」、平成20年は「府中市のみどり2009（平成21年３月）」、平成28年は航空写真からの計測値

（６）歴史的な緑の状況（P.26）

①指定文化財の状況

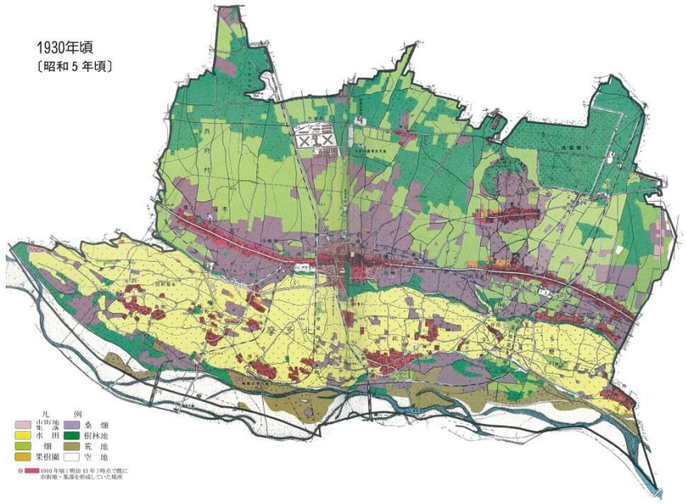
図　指定文化財位置図（73指定：無形除く）



資料：府中市ホームページ(平成29年３月31日現在)

②過去の土地利用からみる緑の状況

図　府中市の土地利用（昭和５年頃）

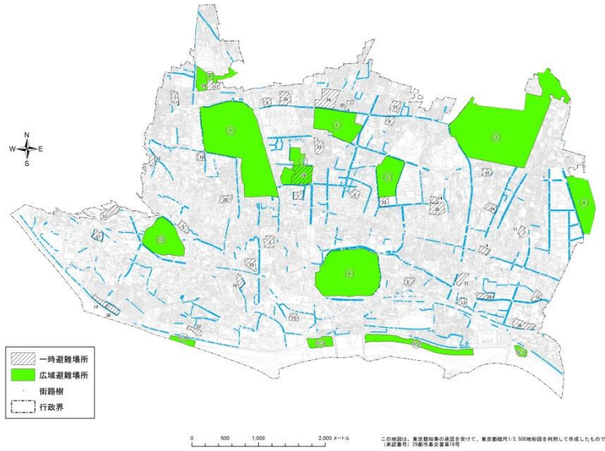


資料：府中の自然（地形地質）ガイドブック(昭和 60 年)

（７）安全機能からみた緑の状況（P.30）

①一時集合場所・広域避難場所、街路樹の状況

図　一時避難所（39箇所）・広域避難所（10箇所）、街路樹の状況



資料：府中市ホームページ
公園緑地課資料

（８）余暇活動の場としての緑の状況（P.31）

①公園・緑地の状況

○　平成28年時点の都市公園は、278か所（178.35ha）が整備されており、１人当たり公園面積は6.86㎡／人となっています。

○　歩いて行ける公園･緑地の距離(誘致圏)を250ｍとした場合、住居系市街地のほぼ全域が含まれています。

図表　公園の配置現状

	都市公園	条例等の公園	合計
誘致圏率	79.3%	18.4%	97.7%

※　誘致圏率とは、公園等を中心とした250ｍの範囲を誘致圏として、その範囲が本市に占める割合

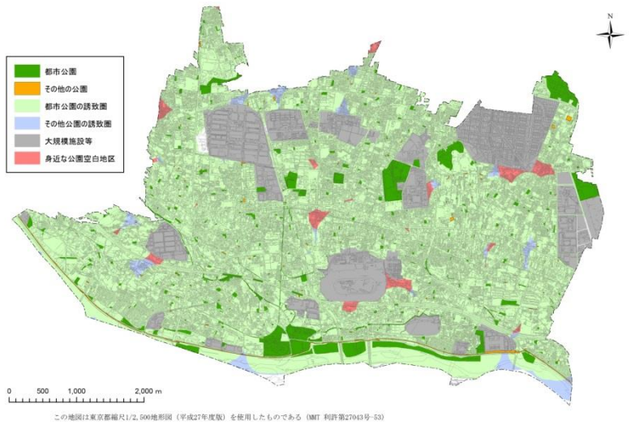
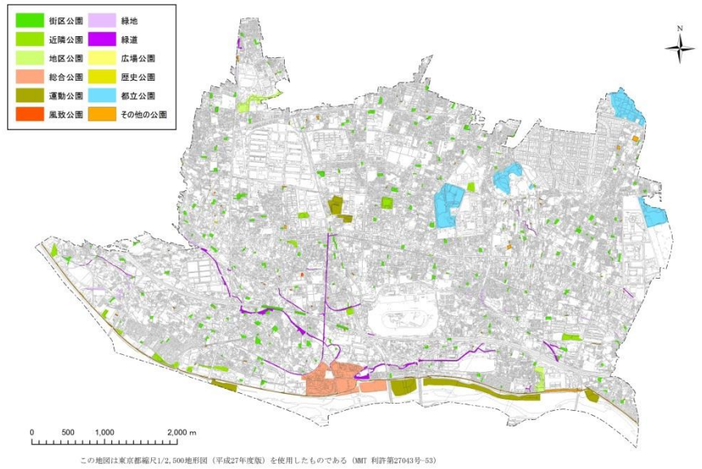
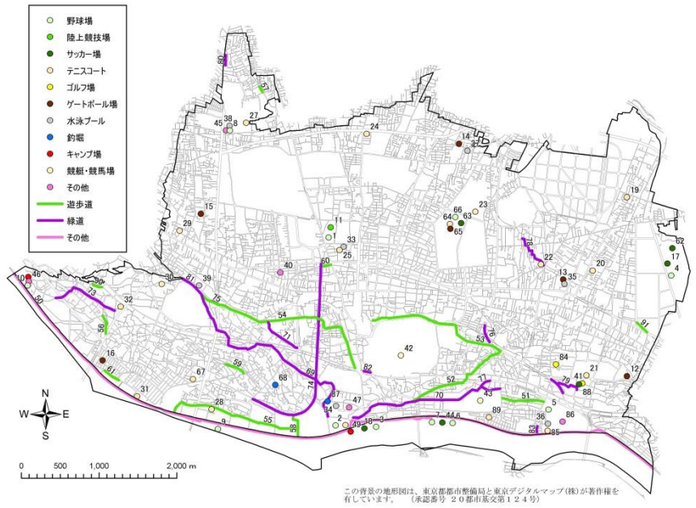


図　都市公園等の整備状況



②レクリエーション施設の状況

図　レクリエーション施設位置図



資料：庁内資料

（９）市民ボランティア等の活動支援状況（P.38）

表　環境に関わる市民ボランティア等の活動支援事業

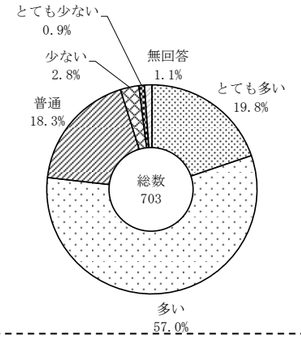
名称	内容
水辺の楽校事業	子どもたちを対象に多摩川などの水辺を活用した自然環境学習及び体験活動を行う自然環境の啓発事業です。
樹木保存事業	一定規模以上の樹木や樹林を指定して奨励金等を交付する、みどり豊かなまちづくりの推進するための事業です
自然環境調査員会議運営事業	市内の動植物の生息状況の把握や普及啓発に関する取組みを行う、市民や市民団体による自然環境調査員会議の運営支援等を行う事業です。
花蓮保存普及事業	大賀蓮の種を発掘した大賀一郎博士の出身地として、市民に末永く親しまれるよう「蓮を観る会」を通じて府中の花蓮を PR する事業です。
市民花壇運営事業	まちに潤いと安らぎのある生活環境を作り出すため、公園などの公共地において、市民参加による花壇づくりを行う事業です。
緑と花いっぱい運動推進事業	緑化講習会の開催や桜まつりや環境まつりにおいて、ウォーキングマップや花蓮の絵はがきを頒布等を行う、市民意識の啓発を目的とした事業です。
落ち葉の銀行事業	登録した市民団体が公園や広場を清掃し、収集した落ち葉を腐葉土して活用する、緑のリサイクルを目的とした事業です。
府中かんきょう塾 2015	平成 13 年にエコ・リーダー養成講座としてスタートした、環境問題をテーマとした連続講座です。
植物観察・調査（多摩川河川敷）	多摩川河川敷に自生する植物の観察会の開催と調査を行う事業です。
西府町湧水調査	西府町湧水の湧水量、水質の通年データ測定調査を行う事業です。
田んぼの学校	東京農工大学フィールドサイエンスセンターフィールドミュージアム本町農場等での農作業体験及び水田に生息する昆虫等の観察を行う事業です。

５．緑に対する市民の意識（P.39～）

（１）市内の緑の量（P.39）

７割以上の方が緑の多さを実感

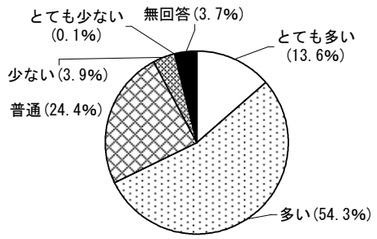
府中市内の緑の量については、「とても多い」「多い」が７割以上に達しており、市内の緑の多さを実感している結果となっています。



＜前回計画時との比較＞

全体傾向は変化無し

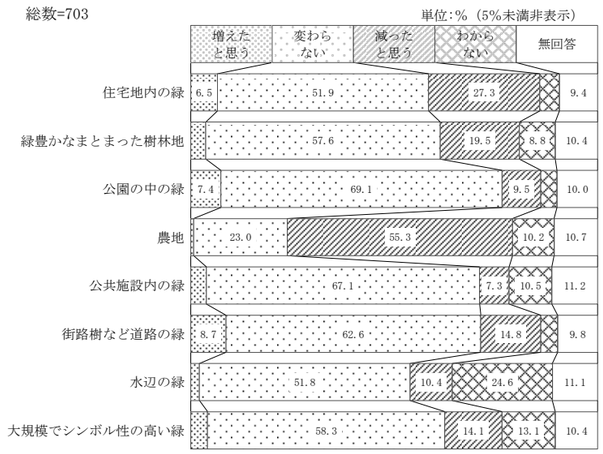
前回計画時でも、「とても多い」「多い」が約７割を占めており、緑の量については全体傾向に著しい変化は見られていません。



（２）10 年前から市内の緑の量の変化（P.40）

減ったと感じている緑は「農地」「住宅地内の緑」「まとまった樹林地」

府中市は緑豊かな街だと感じられている一方、10 年前と比べ「農地」「住宅地内の緑」「まとまった樹林地」が減少したと感じられており、特に「農地」の減少が顕著に感じれらていました。

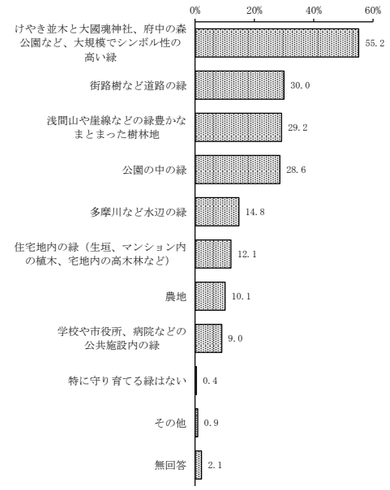


（３）今後も守り育てる必要がある市内の緑（P.41）

今後も守り育てる緑として「大規模でシンボル性の高い緑」を考えられている

今後も守り育てる緑として「大規模でシンボル性の高い緑」の割合が最も高く、「街路樹など道路の緑」「まとまった樹林地」と続きます。

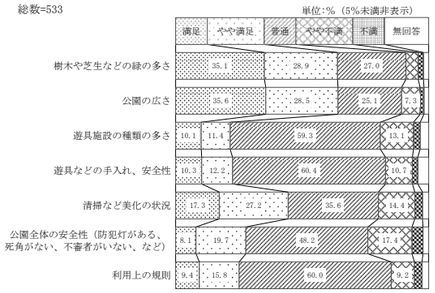
しかし、10年前に比べ著しく減少していると考えられている「農地」については、割合が低い傾向にあります。



（４）市内の公園の利用満足度（P.42）

公園利用者は「樹木や芝生などの緑の多さ」「公園の広さ」「清掃などの美化状況」に満足されている傾向

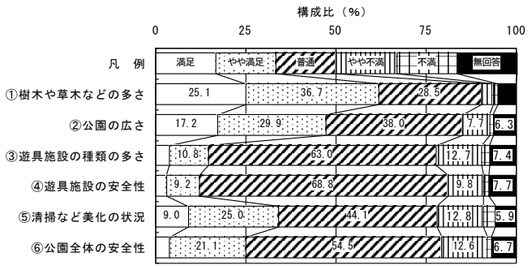
公園利用者の満足割合は、「樹木や芝生などの緑の多さ」「公園の広さ」「清掃など美化の状況」が高く一方、「公園安全性」「清掃など美化の状況」が低い傾向です。



＜前回計画時との比較＞

全体傾向は変化無し

前回計画時でも「樹木や芝生などの緑の多さ」「公園の広さ」「清掃などの美化状況」の満足割合が高く、「公園の安全性」「清掃などの美化の状況」等が低い傾向であり、全体傾向に著しい変化は見られません。

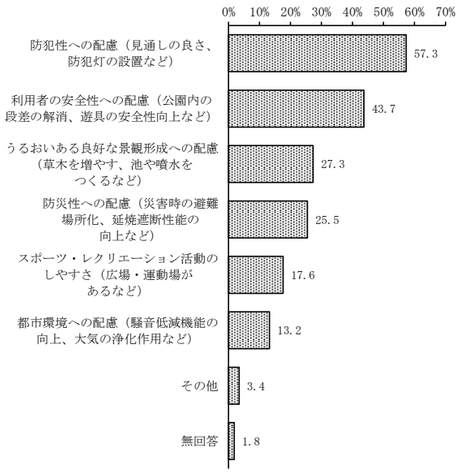


（５）「公園・緑地」を整備する際の配慮事項（P.43）

求められている配慮事項は「防犯性」「安全性」「良好な景観形成」

「防犯性への配慮」が最も高く、「利用者の安全性への配慮」、「うるおいある良好な景観形成への配慮」が続いています。

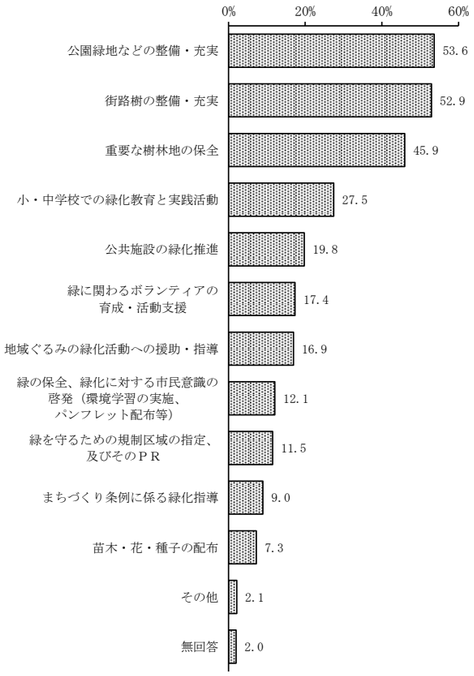
このことから、今後、公園・緑地整備を行う際は、「防犯性」「安全性」「良好な景観形成」への配慮が求められていると考えられます。



（６）市が行うべき緑に関する取組（P.44）

「公園緑地」「街路樹」の整備・充実及び「重要な樹林地の保全」が求められている

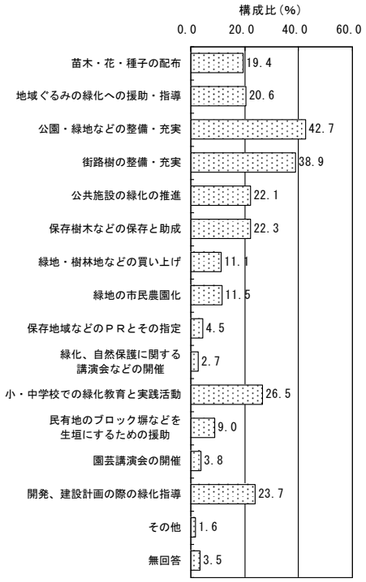
緑を守り育てていくために、市が特に力を入れるべき取組については、「公園・緑地などの整備・充実」が最も高く、「街路樹の整備・充実」、「重要な樹林地の保全」「小・中学校での緑化教育と実践活動」が続いています。



＜前回計画時との比較＞

全体傾向は変化無し

前回計画時では、「公園・緑地などの整備・充実」が最も高く、「街路樹の整備・充実」「小・中学校での緑化教育と実践活動」「保存樹木などの保全と助成」等と続いており、全体傾向の著しい変化は見られません。

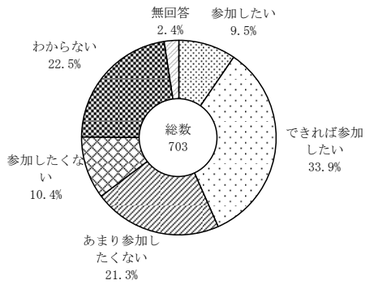


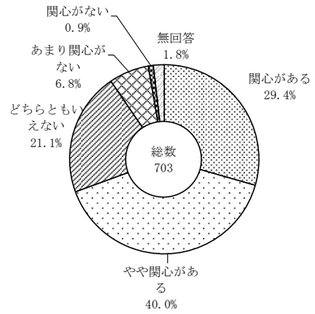
（７）緑を守り増やす活動に関する取り組み（P.45）

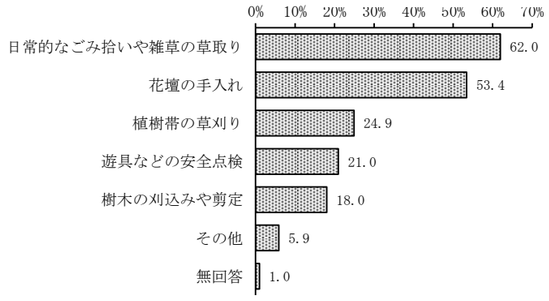
４割程度の方が「参加意欲」があり、身近な緑の管理作業に関心を持たれている

緑を守り増やす活動に関して、約７割の方が「関心」を、４割程度の方が「参加意欲」を持たれています。

また、参加意欲を持たれている方は、「日常的なごみ拾いや雑草の草取り」「花壇の手入れ」といった、身近な緑の管理作業に参加してみたいと考えられています。







６．緑に関する上位関連計画（P.46～）

表　東京都の上位関連計画

番号	計画名	計画期間
1	緑確保の総合的な方針（平成28年3月改定）	平成 29 年度～31 年度まで
2	都市計画公園・緑地の整備方針（平成23年12月改定）	平成 32 年度まで
3	多摩19都市計画　都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成26年12月改定）	平成 37 年度まで
4	多摩川由来の崖線の緑の保全に向けてのガイドライン（平成24年3月発行）	－
5	パークマネジメントプラン（平成27年3月改定）	平成36年3月まで

表　市の上位関連計画

番号	計画名	計画期間
1	第6次府中市総合計画（平成26年3月策定）	平成26年度～33年度
2	府中市都市計画に関する基本的な方針（平成24年11月改定）	平成23年度～40年度
3	府中市インフラマネジメント計画（平成25年1月策定）	平成25年度～64年度（推計期間）
4	府中市公共施設等総合管理計画（平成29年1月策定）	平成29年度～64年度
5	第3次府中市農業振興計画（平成27年1月策定）	平成27年度～33年度
6	第2次府中市環境基本計画（平成26年3月策定）	平成26年度～34年度
7	府中市生物多様性戦略（平成27年1月策定）	－
8	府中市景観計画（平成20年3月策定）	－
9	府中市地域防災計画（平成29年3月修正）	－